

# 創学舎ニュース

Sougakusha News

## No.316

知を磨きながら一日でも早く精神的自立をして下さい。

(柳 善一)

ご卒業おめでとうございます。長い長い受験お疲れ様でした。これからはさらに楽しい日々を送ってください。

(浅岡 茜里)

次の一歩を力強く踏み出してください。人生は有限だから。夢を描いてください。君たちの「未来」とは「可能性」のことだから。

(五日市 浩)

学生生活を能う限り濃密に過ごせ。建設すべき伽藍を胸に抱け。「今どきの新卒って……」と言われるような学生に決してなるな。

(武内 梓朗)

あの時から私たちはここまで歩いてきた、といつの日か共に言えることを願って。

(武内 梓朗)

ご卒業おめでとうございます。常に五年先を意識し、創学舎で身につけたものを糧に、自ら考えられる人間を目指して成長を続けてください。未来を変えて、楽しい人生を。

(高野 陽介)

卒業おめでとう！

みなさんは、高校入試という人生においてとても大事なイベントを経験しました。両親や周りの人の優しさ、受験勉強という孤独な戦いの厳しさなど想像できなかった経験だと思いませんか。この経験はみなさんのかけがえのない財産になったはず。この経験を活かして、次の大学受験や就職に臨んでください。いつまでも応援しています！

(長坂 浩之)

新しい道へ進む期待と共に不安もあるでしょう。しかし創学舎で学んだ君たちはこれからは力強く歩んでいくことと思いませんか。卒業おめでとう！！

(松永 弘文)

新しいステージに歩み出したら、もう後ろを振り向くことはないよ。まっすぐ前を向いて、これからの自分の成長に期待して、しっかりと一歩一歩前に進んでいこう。自信を持って、胸を張れ！

(瀬野 武士)

みなさんに出会えたこと、本当に感謝です。これからの長い人生において、困難に直面することも多々あることでしょう。そんな時こそ「笑顔」を忘れずに。辛いときこそ感謝の気持ちがあれば、きっと道は拓けるはず。大丈夫。受験という試験を乗り越えたみなさんに、越えられない壁はないよ。感謝の気持ちを込めて……卒業おめでとう。(櫻村 公太)

(櫻村 公太)

みなさんは受験というものを通してそれぞれ自分と向き合い闘ったことと思います。この経験は実に貴重なもの。受験の結果はどうあれ、この得難い体験を忘れず、今後の人生を力強く生きていくてほしいと切に願います。

(新島 景子)

みなさんは受験というものを通して、自分をやりたことをもって追求する時期に入りま。悔いのない高校生活を送ってください。

(由比 達也)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(高橋 力)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(村田 寛之)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(小林 英一)

ご卒業おめでとうございます。日々接していく中、みんなから多くのことを学んでいました。本当にありがとう！勉強、スポーツ、遊びなど自分のやりたこと、がむしゃらな高校生活を送ってほしい。未来はいつだってみんなを待っています。

(岡部 葉那子)

ご卒業おめでとうございます。中学校から高校へ、高校から大学へ(人によって)は予備校へ)と人との交際範囲が広がります。人との出会い、人間関係を大切にして下さい。人とのつながりは何よりも大切なものです。自分の可能性を追求しましょう。

(村上 静馬)

ご卒業おめでとうございます。目標は少し高く、夢は少し大きく。この「少し」の積み重ねでいつの間にか大きく成長していきましょう。

(森 清志)

ご卒業おめでとうございます。成功者は必ず投資している。しかし、それはお金にしているのではない。時間という人生最大の財産に投資をしているのだ。今この瞬間も積み重ね。是非、今この瞬間に投資しよう！

(高橋 麻衣子)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(山崎 将之)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(中村 瑤一朗)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(大場 健司)

卒業おめでとう。このままよく頑張ってくださいね。本当に、本当に、大変だったと思います。今までも「ずっと」頑張った君たちの横顔は、とても格好良いと心から思っています。いつまでもその強く優しい顔のままの素敵な大人になってください。これからも私たちは「ずっと」あなたの味方です。

(山崎 将之)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(松尾 裕史)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(小林 健輔)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(真鍋 真悟)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(岡本 武)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(小池 寿幸)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(阿部 浩明)

卒業おめでとう。このままよく頑張ってくださいね。本当に、本当に、大変だったと思います。今までも「ずっと」頑張った君たちの横顔は、とても格好良いと心から思っています。いつまでもその強く優しい顔のままの素敵な大人になってください。これからも私たちは「ずっと」あなたの味方です。

(松尾 裕史)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(小林 健輔)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(真鍋 真悟)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(岡本 武)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(小池 寿幸)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

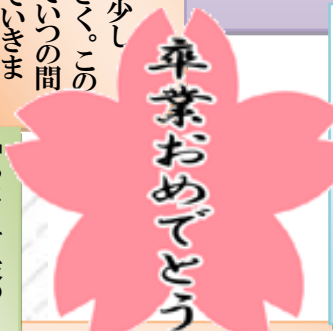
(阿部 浩明)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(阿部 浩明)

ご卒業おめでとうございます。これから先、色々乗り越えられるか分からないことがたくさん出てきます。そういう時こそ、受験で苦しめた時のことを思い出して、自分の未来を切り開いてください。何か悩んだら、いつでも教室へ。少しは力になれると思います。

(阿部 浩明)



Congratulations! and commencement



# 勉強しないと

## どうなるか

受験生のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。受験勉強からようやく解放され、今は楽しいひと時をお過ごしのことと思ひます。

しかし、そんな皆さんにあえて耳の痛い話をしたいと思ひます。今はもう勉強のことなんか考えたくないや、という声が聞こえてきそうですが、あえてここで、勉強しないとどうなるかをシュミレーションしたいと思ひます。

どういふ大学を出れば、どういふ就職口があるのか、ということをお考えのことにはあります。どこの企業がどれくらい給料で、生涯年収がどれくらいなのか等、現在は、調べればすぐにわかります。すると、年収三百万円でスタートするのか、六百万円でスタートするのか等もわかるし、一カ月の家賃がいくらで、生活費がどれくらいかかるのかという計算もできるようになります。

現在の日本のシステムでは一度決まった生活レベルから抜け出せないのが現状です。なぜなら、日本の企業はあまり中途採用が充実してないので、大学の新卒採用を除けば、途中から大手企業に入ることはほとんどできないからです。新卒で入った企業で生涯年収がほぼ決まってしまうと言っても過言ではありません。

しかも、新卒で正社員として就職するこ

とが、一時期のように簡単ではありません。非常に優秀で、とくに悪いところがあるわけでもない学生がなかなか就職できないという話はよくあります。

卒業して十年後、仕事が安定せず、生活がままならない人になるか、あるいは、きちんと就職して、結婚し、子供もいるような人になるか、皆さんはどちらを選びますか。それぞれの人生に優劣はつけられませんが、どちらを選びたいかという、きちんと就職したいと思うのが一般的でしょう。その就職率が大学によって歴然と違うわけです。大学名で仕事ができる保証はありませんが、新卒採用の時点で、差がついてしまふという現実があります。その現実を認識してください。

ここまでずいぶん偉そうな話をしていますが、なぜこのような話を持ち出したかという、私自身がこのようなことを知らず、相当苦労したからです。私の受験勉強はひどいものでした。集中力は続かない、計画性はない、妥協の連続……。それにも関わらず、高校受験が終われば一切勉強しない。その結果、大学受験では大変な思いをしました。

(村田)



# 父親との出会い

「父親との出会い」というのも変な話ですが、私の中で父はとて大きな存在なのです。

小学6年生になったばかりのある日、私は本屋へ連れて行ってもらいました。そこで見つけた問題集。私は欲しくなりました。勉強が好きだったわけではありませんが、ちやうど高校入試を控えた兄がいた影響だろうと思ひます。「ねえ、これ買ってよ。」と父に頼みました。父は、「これはけっこう難しい問題集だぞ。ちゃんとできるか?」と言ひましたが、とにかくそれが欲しかった私は「1日1ページすれば楽にできる。」と言って買ってもらいました。

それから2週間ほどたったある日のことです。私は遊び疲れて、その問題集もせずに寝ていました。「明日まとめてすればいいや。」と考へていたのでした。

その晩遅くに、父は帰ってきました。そして、テーブルの上にあつた問題集を見て、その日の分が終わっていないのを確認するやいなや、私をたたき起こしました。「今日の分はどうした!今からやれ!」と。私は半分寝ぼけていましたが、言い訳できませんでした。言い訳の通じる父ではなかったからです。

私は、半泣きの状態で問題を解き始めました。運悪く、その日のページは「まとめ」のページで、どこそこの入試問題やら難問やらが並んでいました。しかも、父はどつ

しりと私の前に座つています。どうしても解けない問題があり、私は観念して父の顔を恐る恐る見上げました。

ところが父は「なかなかできとるなあ。

その難しい問題はな……。」と言ひながらいいねいに教えてくれました。なぜだかわからないけれど、すごくよくわかりました。厳しさの中に、優しさがありました。断つておきますが、父は決して教育パパではありませんでした。ただ、「自分の言葉に責任をもて」と言ひたかつたのだろうと思ひます。「(男が)言い訳なんかするな」という言葉を、それまでもよく聞きましたから。父はよくキャッチボールの相手もしてくれました。やはり小学6年生の頃、「おい、あいつの球、すごく速くなつたぞ。手が痛くてかなわん。」というようなことを、私にはではなく、母によく言つていたようです。今にして思へば、どうして直接私に言つてくれなかつたのだろうと思ひますが、父親つてものは、どうもそんなところがあるようです。

父は10年前に他界しました。今でも時々、問題集と格闘していたあの日のことを思い出します。

「また父と酒を飲んでみたかつたなあ。」とも思ひます。でもそれは、言つてもしかたのないことです。厳しさと優しさの共存……私の理想の教師であり、私の教師の原点は、私の父なのです。

(瀬野)



### ▼▲継続希望の方へ▲▼

- ▶退塾や転校等で創学舎を離れた方にも、ご希望があれば創学舎ニュースを無料でお送り致します。
- ▶在籍していた教室までご連絡下さい。